



廣部 真造 議員

高島市の文化ホールの在り方について

問

ガリバーホールにおいて高島市民の誇りとなるような事業展開をしてはどうか

答

市民の誇りとなる事業展開に努めていきます

答

文化スポーツ部長

文化ホールの施設再編の方針は、市民1人当たりの延べ

床面積が県内平均の1.7倍

であることを踏まえ、老朽化

などの建物性能状況、利用状

況、維持管理コスト等を考慮

し適正化を図ります。文化芸

術活動の縮小を目的とするも

のではなく、人口減少や少子

高齢化が進む中、限られた財

源で文化芸術活動に親しめる

環境を維持し、持続可能な文

化拠点を提供するためです。

ホール周辺の将来的なまちづ

くりの方向性を考慮しつつ、

他の施設の有効活用など、文

化芸術活動の環境を維持する

ため慎重に検討します。

問

現時点では、将来の在り方を判断する根拠を持ち合わせていないという理解で良いか。

文化スポーツ部長

答

文化ホールは、市民の文化

芸術活動を支える基盤の一つ

で重要な施設であると認識し

ています。一方で、現在のホー

ルすべてを維持し続けること

も困難な状況です。ホールの

再編にあたっては、財政状況

は重要な判断材料の一つでは

ありますが、財政面だけで推

し測れるものではないと考え
ています。

市民の皆さんの芸術活動の
振興に関して、これまでと同
様にお支え、維持できるように、
他施設の有効活用や地域へ出
向く活動、また様々な団体主
体との連携など文化芸術活動
の場を提供し広げる取り組み
をし、総合的に判断したいと
考えています。

問

音響効果が極めて高く評価されるガリバーホールにおいて高島市民の誇りとなるような事業展開をしてはどうか。

答

文化スポーツ部長

全国でも有数の優れた音響
効果を誇るガリバーホール
は、高い評価を得ており、び
わ湖国際フルートコンクール
やプロの演奏家によるコン
サートの開催、さらにはレ
コーディングなどでも活用さ
れています。今後は、市民の
誇りとなる事業展開に努めて
いきます。

問

公共施設再編計画において、将来の在り方をどのような根拠で決定する考えなのか。

化芸術活動の環境を維持する

化芸術活動の環境を維持する